

INFORMATION AND KNOWLEDGE NEWS

情報知識学会ニューズレター
2000.7.1

56

情報知識学会事務局 発行 〒110-8560 東京都台東区台東 1-5-1 凸版印刷(株) 内
TEL: 03-3835-5692 FAX: 03-3837-0368 E-mail: LDE01013@nifty.ne.jp

ISSN 0915 1133

目 次

[巻頭言] 総会報告	(藤原鎮男) 1
[お知らせ] 第5回 SGML/XML 研修フォーラム	2
[報告] 平成12年度総会議事録および総会資料	3

[巻頭言]

総 会 挨 拶

会長 藤原鎮男

平成12年度の研究報告会が盛大に、そして立派なプログラムをもって開催され、会長として喜びに堪えません。会員の御協力と関係各位のお骨折りに感謝する次第であります。そして引き続いてここに総会開催を果たし得ることは幸い至極であります。これについては、例年と同様に会場を提供賜った凸版印刷株式会社の御好意に対しとくに厚くお礼申し上げます。

折角の機会でありますので、会長として所感を一二述べさせていただきます。まず冒頭に申し上げたいことは、後ほど報告申し上げますが、会の事業、会計ともに、一応の安定軌道に乗ったということであります。先年来もつとも会員各位のお心を煩わせました学会誌の発行について、昨年度から年間4号すなわち季刊が実現し、今後も当面この形で進み得ることになりました。さらに、会計面では一応黒字の決算を御報告できました。これらはそれぞれ担当当事者の非常な努力によって実現しているのが実状であり、そういう意味では薄氷を踏む思いでありますし、また、会員の退会が続く、積極的にその引き留めと、むしろ増強に努力しなければいけない状況であることなどはもちろんであります。ともあれ、安定路線に立ったとここで申し上げますことは、悦ばしい限りに存じます。

学会の基本問題として本日は、専門用語研究会の本会への合流を御審議願いたく思います。この問題は、専門用語研究会から数年前本学会に打診があったことに始まります。爾来、非公式に両学会は理事会で検討し、議論を重ね、両学会双方が検討委員を選んで具体的な問題点の検討を重ねてきました。その結果、合流が双方のメリットになるとの判断となり、昨年末、両学会の理事会は合流を推進することを決定したのであります。そこでさらに実質的な確認と手続きの整備をはかるために、用語研究会は全会員にアンケート形式で賛否を問い、本年3月、大多数の賛成で「合同」を決定され、本学会は、3月の理事会で、用語研究会の上記の決定の結果を承けて、5月の総会にはかり、合同の可否を決定することとした次第であります。元来、専門用語研究会と本学会は情報知識の学術の振興を目指してほとんど同時に設立されたものであり、その意味では同根、同族の関係にあります。すなわち、情報学振興を目指して日本学術

会議の情報学研究連絡委員会の改組が行われたとき、本学会はその対応体として創立されたのでありますが、たまたま、これより少し前、情報学基礎としての用語の重要性の認識に立ってその学術の振興を目指す専門用語研究会が設立されておりました。このような経緯でありますので、両者が合同し協力することは情報学全体の進歩発展のために望ましいことなのであります。後ほど御審議を仰ぎますが、本件が承認されますことを願う次第であります。以上のように、会誌の刊行や各種の学会主宰事業の展開が軌道に乗って来た原段階においては、学会の運営の充実、例えば役員の選出法その他の規約の整備を図り、また、情報学の振興のための事業の発展を期したく思う次第でありまして、会員各位のいっそうの御協力を願う次第であります。以上総会にあたり、会長として御挨拶申し上げます。

<編集部注>

これは去る5月27日に開催された平成12年度情報知識学会総会における冒頭の議長挨拶を集録したものです。なお、同日同所での研究報告会については情報知識学会誌次号(10巻2号)に概況報告および各発表者の論文要旨を掲載する予定です。

.....

[お知らせ]

「第5回SGML/XML研修フォーラム」

情報知識学会誌10巻1号でご案内した通り、標記フォーラムを今秋主催します。2日間の内容は、行政関連、学界、ベンダー系、ユーザー系(主としてEC関連)の4区分で各4名程度、14～16名の講師を予定しています。詳細プログラムは今夏、本学会のホームページに発表します。

(<http://angelos.info.kanagawa-u.ac.jp/jsik/main.html>)

毎回好評で本学会員も多数参加されています。(参加費は半額となります。)また、当学会員が紹介された一般のかたも割り引き(18,000円)で参加できますので、XMLにご関心のあるかたをお誘いください。申込受付は8月1日からの予定です。前回は定員100名に対し150名のお申込がありました。先着順ですので、参加お申込はお早めにどうぞ。ご不明の点のご遠慮無く事務局へお問い合わせください。

- ・開催日時：平成12年10月25日(水)～26日(木)の2日間 9:30～16:30
- ・会場：グランドヒル市ヶ谷(東京・市ヶ谷駅より徒歩3分)
- ・内容：政府・自治体等公共的場面での動向と、民間企業の適用事例および対応製品の現況を総覧
- ・参加特典：講演の要旨を集録した予稿集(情報知識学会誌特別号 3,000円)を、当日、会場受付で差し上げます。
- ・協賛団体：多数交渉中のため後日発表
- ・参加費：一般28,000円、地方自治体職員・国家公務員18,000円、情報知識学会会員14,000円、入会申込者(当日手続き可)20,000円、協賛団体会員・リピーター18,000円、学生5,000円。

情報知識学会 平成 1 2 年度総会議事録

1. 名 称 情報知識学会 平成 1 2 年度総会
2. 開催日 平成 1 2 年 5 月 2 7 日 (土) 17:30～
3. 会 場 東京都千代田区神田和泉町 1 番地
4. 議 長 藤原鎮男会長
5. 議 事 司会進行：根岸副会長
 - (1) 開 会・議長挨拶：藤原鎮男会長
 - ・総会有効成立確認：事務局長
 - 総会出席者 24 名、他に委任状 85 通の提出を受け、計 109 名。
 - 定足数（会員の 10％）を満たし、総会成立。
 - (2) 報告事項・平成 1 1 年度事業報告：藤原諒副会長
 - ・平成 1 1 年度決算報告：細野副会長
 - ・監査報告：月見里監事
 - (3) 承認事項・専門用語研究会併合の件：藤原鎮男会長
 - ・役員改選の件：藤原鎮男会長
 - ・平成 1 2 年度事業計画説明：藤原諒副会長
 - ・平成 1 2 年度予算説明：細野副会長

上記の報告および提案は原案通り承認された。本年度理事（2 名空席）について補充する場合は会長一任とされた。詳細は後掲「平成 12 年度総会資料」参照。

平成 1 2 年度総会資料

1. 会員数

	H 11.3.31 現在	H 11.4.1 ～ H 12.3.31		H 12.3.31 現在
		入 会	退 会	
正会員	3 0 7 人	2 0	2 2	3 0 5 人
学生会員	1 0 人	5	3	1 2 人
賛助会員 () は口数	1 9 法人 (59)	0 (0)	3 (7)	1 6 法人 (52)
合 計	3 3 6	2 5	2 8	3 3 3

2. 平成11年度事業報告

①会議

- ・平成11年 5月13日 17:30～20:00 理事会 於：凸版印刷(株)
- ・平成11年 5月22日 17:30～18:00 総会 於：凸版印刷(株)
- ・平成11年 8月25日 17:30～20:00 理事会 於：凸版印刷(株)
- ・平成11年11月25日 17:30～20:00 理事会 於：凸版印刷(株)
- ・平成12年 3月16日 17:30～20:00 理事会 於：凸版印刷(株)

②講演会・セミナー・シンポジウム等

- ・「情報知識学会・第7回（1999年度）研究報告会」主催 於：凸版印刷(株)
平成11年5月22日
- ・「INFOSTAシンポジウム'99」後援 於：大阪市立大学 学術情報総合センター
平成11年6月25日 主催：(社)情報科学技術協会
- ・「第11回歴史研究と電算機利用ワークショップ」情報知識学会人文社会科学系部会主催
平成11年7月17日 於：駿台電子情報専門学校
- ・「人文科学とコンピュータシンポジウム」後援 於：国立民族学博物館
平成11年9月17～18日 主催：情報処理学会
- ・「地球圏－生物圏国際協同研究計画会議」後援 於：日本学術会議講堂
平成11年5月7日～13日 主催：日本学術会議
- ・「第4回SGML/XML研修フォーラム」主催 於：グラントヒル市ヶ谷
平成11年10月19日～20日
- ・「第12回歴史研究と電算機利用ワークショップ」情報知識学会 人文・社会科学系部会
および 学習院大学史学会 主催 平成11年11月27日 於：学習院大学
- ・「2000年情報学シンポジウム」後援 於：日本学術会議講堂
平成12年1月13日～14日 主催：日本学術会議
- ・「情報知識学会月例研究会」開催 於：世界貿易センタークラブ（浜松町駅隣）
第1回～第5回（10/26、11/24、1/25、2/22、3/28）毎月第4火曜日

③刊行物

- | | | |
|---------------------------|-------------|----|
| ・ニューズレター 53号 | 平成11年 4月 1日 | 発行 |
| ・情報知識学会誌9巻1号 | 平成11年 4月23日 | 発行 |
| ・第7回（1999年度）研究報告会講演論文集 | 平成11年 5月22日 | 発行 |
| ・ニューズレター 54号 | 平成11年 9月 1日 | 発行 |
| ・情報知識学会誌9巻2号 | 平成11年 9月11日 | 発行 |
| ・情報知識学会誌9巻3号（SGML/XML特別号） | 平成11年10月19日 | 発行 |
| ・ニューズレター 55号 | 平成11年12月 1日 | 発行 |
| ・情報知識学会誌9巻4号 | 平成12年 2月19日 | 発行 |

3. 平成11年度(1999.4.1 ～ 2000.3.31) 予算書

(単位: 円)

収入の部		支出の部		
収入科目	収入金額	部 門	使用科目	使用金額
前年度繰越金	1,493,389	ニューズレター 編集部門	印刷代・送料	600,000
会費収入(個人)	1,800,000		編集経費等	10,000
会費収入(法人)	1,800,000	学会誌編集部門	印刷代・送料	1,500,000
利息	1,000		編集経費	20,000
学会誌・別刷代	50,000		原稿料	0
懇親会参加料	0	企画部門	セミナー備品等	440,000
講演論文集代	100,000		講師謝礼等	500,000
事業収入	1,700,000	研究報告会	講演論文集印刷代	250,000
雑収入	55,611		懇親会経費	0
		総務部門	入会案内作製費	100,000
		事務局・その他	理事会実施費用	100,000
			事務用品代	50,000
			通信費・送料	100,000
			印刷代(封筒等)	100,000
			振込手数料	10,000
			総会実施経費	20,000
			業務委託費	1,800,000
			交通費その他	500,000
		事務局機構拡充積立金増額		400,000
		予備費		500,000
合計	7,000,000	合計	7,000,000	

*会費収入は平成11年3月31日現在の会員数より算定

4. 平成11年度(1999.4.1 ～ 2000.3.31) 決算書

(単位: 円)

収入の部		支出の部		
収入科目	収入金額	部 門	使用科目	使用金額
前年度繰越金	1,493,389	ニューズレター 編集部門	印刷代・送料	415,547
会費収入(個人)	2,721,040		編集経費等	0
会費収入(法人)	1,500,000	学会誌編集部門	印刷代・送料	1,821,263
利息	324		編集経費	58,000
学会誌・別刷代	105,000		原稿料	0
懇親会参加料	0	企画部門	セミナー備品等	435,996
講演論文集代	97,900		講師謝礼等	175,000
事業収入	1,964,000	研究報告会	講演論文集印刷代	261,450
雑収入	116,717		懇親会経費	0
		総務部門	入会案内作製費	103,068
		事務局・その他	理事会実施費用	89,380
			事務用品代	14,916
			通信費・送料	63,374
			印刷代(封筒等)	112,272
			振込手数料	6,825
			総会実施経費	20,000
			業務委託費	1,800,000
			交通費その他	473,989
		事務局機構拡充積立金増額		400,000
		次年度繰越金		1,747,290
合計	7,998,370	合計	7,998,370	

5. 貸借対照表

平成12年3月31日現在（単位：円）

科 目	借 方	貸 方	備 考
1. 資産の部			
現金	0		
普通預金（三和銀行）	129,980		
定期預金（三和銀行）	1,000,000		
郵便振替口座	2,601,310		
定額郵便貯金	1,000,000		
2. 負債の部			
前受金		584,000	平成12年度年会費
未払費用		0	
3. 特別会計			
事務局機構拡充積立金		2,400,000	
4. 正味財産		1,747,290	
（内当期正味財産増加額）		（ 253,901）	
合 計	4,731,290	4,731,290	

監査報告書

情報知識学会

会長 藤原 鎮男 殿

作成日 平成12年5月10日

情報知識学会 監事 犬戸駿太郎

情報知識学会 監事 月見里禮次郎

当監事は、情報知識学会定款第19条に基づく監査証明を行なうため、情報知識学会の平成11年4月1日から平成12年3月31日までの財務諸表について監査を行ないました。この監査に当たって、当監事は一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続きを実施致しました。

監査の結果、当監事は上記財務諸表が平成12年3月31日現在の情報知識学会の財務状況を適正に表示しているものと認めます。

6. 平成12年度事業計画

- ①会議
- ・総会 平成12年5月27日開催
 - ・理事会 年4回開催
- ②講演会・シンポジウム
- ・第8回(2000年度)研究報告会開催(5月27日)田畑実行委員長
 - ・第5回SGML/XML研修フォーラム(10月25～26日)根岸副会長
 - ・月例研究会(毎月第4火曜日)平田理事
 - ・その他
- ③研究部会(部会長)
- ・知的財産権(名和)、電子管理システム(根岸)、CODATA(田隅)、人文・社会科学系(永村)、専門用語研究(藤原譲)
- ④刊行物
- ・学会誌 第10巻1～4号(後藤編集委員長)
 - ・ニューズレター 56～58号(事務局)
 - ・第8回(2000年度)研究報告会講演論文集(田畑実行委員長)
- ⑤広報活動
- ・情報知識学会案内パンフレット改版(平田理事)
 - ・情報知識学会ホームページ活性化(後藤編集委員長)

7. 平成12年度(2000.4.1～2001.3.31)予算書

(単位:円)

収入の部		支出の部		
収入科目	収入金額	部 門	使用科目	使用金額
前年度繰越金	1,747,290	ニューズレター 編集部門	印刷代・送料	500,000
会費収入(個人)	2,500,000		編集経費等	50,000
会費収入(法人)	1,560,000	学会誌編集部門	印刷代・送料	1,800,000
利息	1,000		編集経費	50,000
学会誌・別刷代	100,000		原稿料	0
懇親会参加料	0	企画部門	セミナー備品等	500,000
講演論文集代	100,000		講師謝礼等	500,000
事業収入	1,900,000	研究報告会	講演論文集印刷代	250,000
雑収入	91,710		懇親会経費	0
		総務部門	入会案内作製費	100,000
			理事会実施費用	120,000
		事務局・その他	事務用品代	500,000
			通信費・送料	200,000
			印刷代(封筒等)	100,000
			振込手数料	10,000
			総会実施経費	20,000
			業務委託費	1,800,000
			交通費その他	600,000
		事務局機構拡充積立金		400,000
		予備費		500,000
合計	8,000,000	合計	8,000,000	

8. 役員人事

会長	藤原鎮男	東京大学	名誉教授
副会長	藤原譲	神奈川大学	教授
	細野公男	慶応義塾大学	教授
	根岸正光	国立情報学研究所	教授
理事	芦沢 実	日立製作所（株）	主任研究員
	有川節夫	九州大学	教授
	石塚英弘	図書館情報大学	教授
	岩淵幸雄	日本創造学会	理事
	菊田昌弘	（株）シナジー・インキュベート	代表取締役
	国沢隆	東京理科大学	講師
	後藤智範	神奈川大学	教授
	小山照夫	国立情報学研究所	教授
	菅原秀明	国立遺伝学研究所	教授
	高橋仁一	大日本印刷（株）	開発室長
	田隅三生	埼玉大学	教授
	田畑孝一	図書館情報大学	副学長
	田村貴代子	市川房枝記念会	
	次田皓	プロテオミクス研究所	所長
	中川優	和歌山大学	教授
	長瀬眞理	静岡大学	教授
	永村真	日本女子大学	教授
	名和小太郎	関西大学	教授
	西脇二一	奈良大学	教授
	平田周	（株）I T経営研究所	所長
深見拓史	凸版印刷（株）	技術企画部長	
松田芳郎	東京国際大学	教授	
安永尚志	国文学研究資料館	教授	
山本昌弘	法政大学	教授	
監事	矢戸駿太郎	環日本海経済研究所	研究顧問
	月見里禮次郎	多元空間えんがわ	代表

■編集後記

今、本学に非常勤講師でいらしている大学院時代の恩師の講義を受けているのですが、たいへん刺激になります。「宇陀くんも（内容を）だんだん思い出してきたんじゃないか？」とか「僕の説明、前よりうまくなったでしょ」などと言われると僕も精進せねばと思ったりします。おもしろいのは、大学院時代と比べると師匠のお話を一歩引いて聞けることです。成長したのか鈍ったのかはわかりませんがね。はは。さらにもおもしろいのは、いっしょに授業を受けている院生が師匠のお話を聞いて「うーん」と考え込んでいる姿を見ることで、「そう簡単にはわかるまい」などと心の中でつぶやいています。師匠も院生もこのニューズレターを見ているはずですが、さてさて、今日の授業で何を言われることやら。

ニューズレター編集委員 宇陀 則彦

■複写をされる方に

[R] <学協会著作権協議会委託>

日本国内における、当ニューズレターからの複写許諾は、学協会著作権協議会から得てください。

学協会著作権協議会

〒107 東京都港区赤坂 9-6-41

TEL:03-3474-4621, FAX:03-3403-1738

アメリカ合衆国における複写については、Copyright Clearance Center, Inc. から得てください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA. 01923, USA

TEL: 508-750-8400, FAX: 508-750-4744